



恩師や後輩に見送られ

思い出の校舎に別れを惜しむ

“行く手には、人生の荒波が待ちうけていますが、勇気をもって乗り越え、すばらしい人生を築いてください。”と励ましの言葉を受け、鷹巣中学校290人、南中学校44人が、進学、就職とそれぞれ選んだ“新しい社会”へ巣だって行きました。

南中学校では、3月14日お世話になった恩師や後輩に見送られ、思い出多い校舎や校庭の松の老木に別れを惜しんでいました。

人口と世帯数

住民基本台帳による

2月28日現在	(前月比)
総人口 25,478人	(11人増)
男 12,438人	(増減なし)
女 13,040人	(11人増)
世帯数 7,214世帯	(7世帯増)

新年度の予算など決まる

昭和五十七年度の予算などを審議する三月定例町議会は、三月九日から十九日までの十一日間の会期で開かれ、新年度一般会計予算をはじめ特別会計、五十六年度各会計の補正条例の改正、請願などを可決して終了しましたので、そのあらましを報告いたします。なお、新年度一般会計のおもな事業等については、次号の四月十五日付け広報に掲載します。

一般会計

消費的経費は最少限に

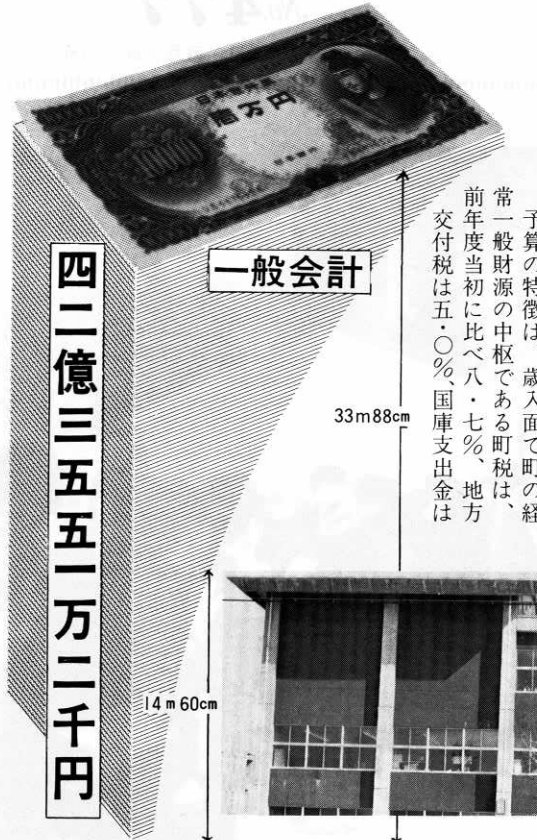
昭和五十七年度一般会計予算は歳入歳出それぞれ四十二億三千五百五十一万二千円で、前年度当初予算に比べ一億四千六百三十万五千円、三・五％の伸びとなっております。

予算の特徴は、歳入面で町の經常一般財源の中核である町税は、前年度当初に比べ八・七％、地方交付税は五・〇％、国庫支出金は

九・九％伸びたのをはじめ、地方譲与税、交通安全対策特別交付金、使用料及び手数料、諸収入はそれぞれ増加。自動車取得税交付金、分担金及び負担金、県支出金、財産収入、繰入金、町債はそれぞれ減少しております。

歳出においては、国、地方をめぐる財政事情は一段と厳しさを加えている現状で、人件費は五十六年度末の現員に定昇込み、經常経費のうち物件費では、ほぼ五十六年度予算の実績なみにおさえ、効率的配分につとめ消費的経費は必要最少限にとどめ、今後予定される鷹巣小学校と中央保育所の移転事業、摩当簡易水道新設等の投資的経費に対処すべき用意をしております。

一般会計の歳入歳出および町税性質別経費の内訳は、次ページグラフのとおりです。



1万円札(新券)を重ねると役場庁舎の2倍以上の高さになります。

新年度施政方針

慎重な計画と

多くの英智を結集し

五十七年度の施策については、一般会計および特別会計等におよそ示しており、予算説明審議を通し明らかにいたしますが、町に関わりのある国、県等の施策の大綱も含め、併せて一端をご説明申しあげます。

二年続きの冷害は、稲作等農作物に大被害を与え、農業所得が減少し、地場産業も必要な減退、価格の低迷により収益が悪化し、連鎖反応で町経済は不況に立たされていきます。

一方、国の財政も悪化し、増税なき財政再建が臨調と予算案で具体的になりつつあり、特に公共事業の縮小、補助金の削減は地方公共団体の今後の財政運営に大きくのしかかってきました。

以上をふまえて、今後町財政の執行にあたっては、より一層の慎重な計画とより多くの英智を結集し、既成の概念にとらわれることなく簡素化、合理化を導入し、また投資的経費を重点的に定めながら執行して参る所存であります。

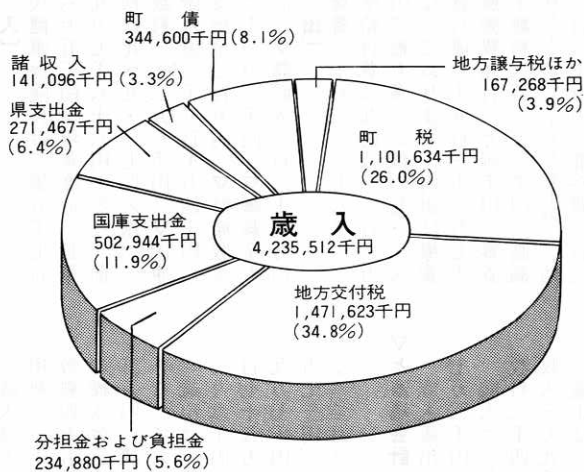
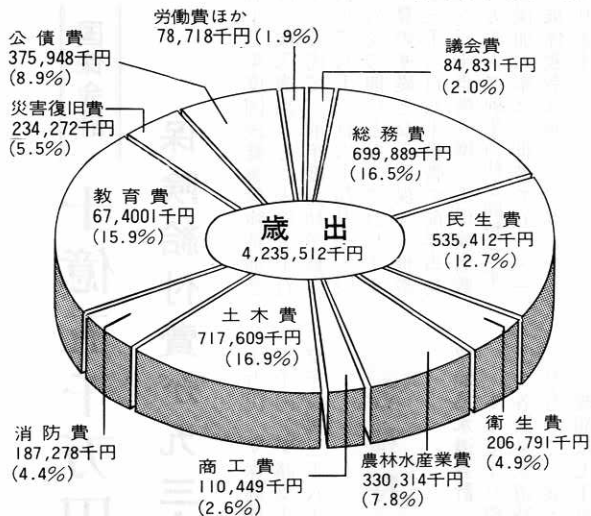
〔大野台関係〕：▽既に前年に内陸工業団地に企業の誘致が決定し、操業に入っていますが、今後とも強力に雇用の拡大を求めたいと思っております。▽大野台の開発については、県と大野台推進協議会が中心となり調査が行われますが、その内容は既に行われた基本調査を基礎とし、実情をふまえての具体的肉づけであり、本年度コンサルタントに委託の予定であります。▽国営農業用地開発としての国の調査は、予算計上の見通しであり、三町で六百畝以上をめぐりに未利用、低生産地の生産を高める土地改良等の調査であり、今後数年を要するものであります。

〔阿仁合線の関係〕：角館線特定地方交通対策協議会には、阿仁合線沿線の各町村も構成員として参加し、既に一回目の協議会が開かれ、引き続き五十七年度に開かれる予定です。

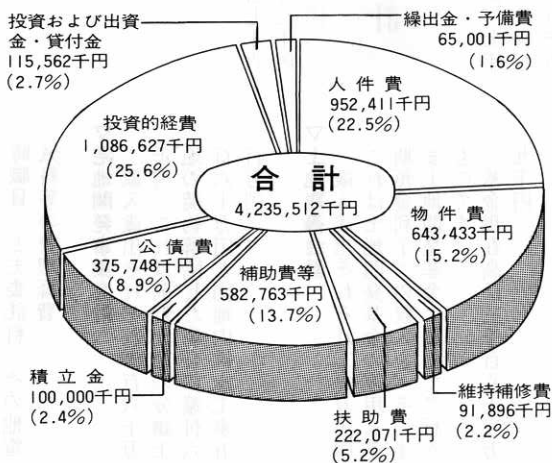
また県からは、かねて取沙汰の第三セクターの営業試算が提示され、その説明も行われました(概数のもの)。今

五十七年度の施策については、一般会計および特別会計等におよそ示しており、予算説明審議を通し明らかにいたしますが、町に関わりのある国、県等の施策の大綱も含め、併せて一端をご説明申しあげます。

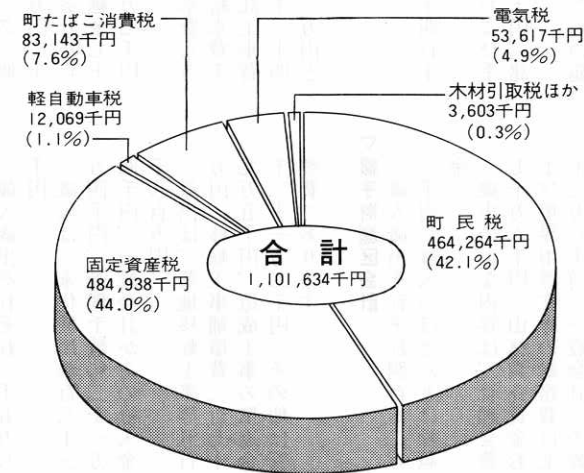
＝一般会計歳入歳出の内訳＝



＝性質別経費の内訳＝



＝町税の内訳＝



後本協議会は、具体的内容の審議等が行われ、県および関係町村としての今後の対応が迫られることになりました。

〔農林業関係〕：水田利用再編対策は、第二期目の二年後に入りましたが、二年続きの冷害により、特別措置として水田総面積の一六・二％に当たる四百七十四畝の転作目標配分面積（第二期一八・三％、五百三十九畝）が指示されました。

このような状態から、町としては引き続き基盤整備による土地改良を始め、農地の汎用化と転作目の団地化による高度利用等、稲作プラス畜産、畑作との複合経営の定着化と中核農家の育成に取り組んでまいります。

また畜産については、今年度も引き続き導入牛を計り、経営拡大と疾病予防に対して一部助成をなし、畜産農家の経営安定に努力してまいります。

次に五十六年度に指定を受けました第三期山村振興農林漁業対策事業も、本年度から事業実施年度に入りましたので、目下農林水産省と事業設置地区等の協議が終りしだい、順次に事業を進める所存であります。

農協合併については、去る二月二十七日鷹巣町農協合併研究協議会が設立発足いたしましたので、鷹巣町の農協の将来像を予測しながら、単位農協の役割をはじめ、組合に機会を与え、十分な審議検討を重ねたい考えであります。

農道整備：開拓地農道整備事業（横溝く中新田線）は、総延長二千三百八十四ののうち、五十六年度まで三百の路体工事を施工、五十七年度は横溝地内の急勾配と曲線区間に修正を加えながら、土留よう壁を施工の予定であります。

また団体営農道整備事業は、三路線について事業を継続中ですが、石の巻地区は総延長千七百七十四ののうち、五十六年度まで千八百十二の路体工事を施工し、五十七年度は九十二の路体工事と八百の舗装工事を施行の予定であります。

小糠沢地区は総延長千二百四十五ののうち、五十六年度まで用地買収と二百九十二の路体工事を施行し、五十七年度は六百二十の路体工事を予定しております。また彦四郎沢地区については、総延長九百七十五ののうち、用地買収の一部と二百の路体工事を施工し、五十七年度は残された用地買収と約二百の路体工事を予定しております。

○かかんが排水事業：鷹巣三堰地区かかんが排水事業（揚

国保会計

十億五千万円に

保険給付費が九三八%

五十七年度国民健康保険特別会計は、歳入歳出ともに十億、五千三百六十万円で、前年度当初予算に比較して八千二百六十九万二千円、八・六%の伸びとなっております。予算の基礎となる国保加入世帯数は三千六百八十世帯で前年当初に比べ三十世帯の増。被保険者数は一万千人で前年当初と同数です。国保加入率は、世帯で五一・一%、被保険者は四三・二%となっております。

〔歳入〕
▽国民健康保険税は三億五千七百四十六万五千円(現年度分一世帯当り九万七千八百六十六円となり、前年当初に比べ九・一七%の増)
▽手数料三十二万八千円、▽国庫支出金六億三千五百四十万四千円、▽県支出金二百万円、▽財産収入三百六十一万三千円、▽繰越金五千円、▽諸収入二百八十五万五千円

〔歳出〕
▽総務費三千二百二十一万八千円
▽保険給付費は九億八千六百六十四万四千円で最も多く全体の九三・八%となっております。内訳は療養給付費八億六千五百三十一万七千円、療養費九百二十万四千円、審査支払手数料三百六十六万六千円、高額療養費九千八百五十五万七千円、助産費六百八十万円、葬祭費三百三十万

十万円、▽保健施設費二百七十六万五千円、▽諸支出金五十万二千円、▽子備費三千八十一万四千円

各種特別会計

▽簡易水道会計
本年度より綴子、坊沢、七座の各簡易水道特別会計を統合したもので、歳入歳出のそれぞれの総額は七百五十万三千円。歳入は水道およびメーター使用料が三千九百九十七万円、手数料四万五千円、一般会計からの繰入金三千万円、繰越金七十五万円、諸収入七十三万七千円となっております。

歳出は、原水及び浄水費八百一十六万四千円、配水及び給水費千九百七十八万二千円、受託工事費九百七十七万五千円、総係費五千三百四十七万七千円、設備費六十六万四千円となっております。

▽と畜場会計
歳入歳出それぞれ二千四百十七万三千円。
歳入は、と場使用料および手数料二千四百十三万二千円、諸収入三万九千円。
歳出は、と場経営のための臨時職員、と夫妻託料、その他電気料等の管理経費

▽宅地開発事業会計
歳入歳出それぞれ千六百六十万円。これは前野団地の分譲土地の契約解除した場合の還付六百六十万円と団地内排水工事五百万円。

土地取得会計

歳入歳出それぞれ二百二十万円。これは土地開発基金の運用(定期預金利子)の収入を、そのまま土地開発基金に積立てて行くものです。
基金現在高は三千八百八十三万九千円。

▽墓地公園会計
歳入歳出それぞれ二千五万八千円。
歳入は、永代使用料百八十三万四千円、管理手数料二十一万四千円、一般会計からの繰入金千八百万円。
歳出は、墓地移転工事等五百万円、移転工事補償費二百七十九万五千円、造成工事の償還金千二万一千二百円、その他は管理費であります。

▽綴子財産区会計
歳入歳出それぞれ四百二十二万二千円。歳入のほとんどは繰越金。
歳出の主な内容は、管理会費七十万六千円、山林調査賃金および境界用標柱等の総務費は七十二万六千円、一般会計への繰

水機能障害)は、総事業費六億三百万円で県営事業として五十五年より進めておりますが、五十六年度までは移設する揚水機場の敷地の買収と百八十二名の管理道路を完了しておりますが、五十七年以降は揚水機場の新設が予定されております。
また、太田地区排水対策特別事業(延長二千二百、事業費八千万円)は、五十七年度より着工の見込みであります。

▽ほ場整備事業：脇神地区団体営ほ場整備事業(事業量十六・二、事業費八千五百五十万円、五十六年度着工)は、五十六年度まで二・五の面積を施行し、五十七年度以降残面積十三・七の工事に入ります。小ヶ田地区(事業量二十五・九、事業費一億八千八百万円)は、五十七年度より継続事業で着工を予定しております。
▽地籍調査事業：五十七年度は、七日市宇越鳥沢ほか四十四字十四・七六平方町を実施いたします。関係部落は、葛黒、与助岱、三の渡、黒森、松沢、明利又、上舟木、揚の下、下舟木、吉ヶ沢の十地区になります。
▽林務関係：町有林等の整備については、造林事業では町行林四十五、杉および赤松を植栽、町有林二、杉にケヤキおよびブナの植栽を予定しております。
保育事業では、下刈三百二十四、枝打十五、施肥十一を実施予定ですが、今後財産区との分収予定地の整備については、現況調査結果をみて整備を進める予定です。
林道整備については、林業地域総合整備事業実施へ向け、計画路線(五路線)の調査測量を行う予定です。
また、継続実施しております県営事業の基幹林道大摩当線は、五十七年度分計画延長三千七百六十六、一億八千万円で実施予定であり、一年繰延べられた鷹巣、田代間が開通されるもので、総体計画一万六千二百の六九%が完了予定であります。一方の峰越林道奥見内線は、五十七年度分計画延長千四百八十八、一億五百万円で実施予定であり、総体計画六千六百六十七の九〇%が完了される予定です。

林業構造改善事業では、二カ年継続で工事施工をしております沢口林業センターは、五月中旬頃より使用できるよう完成を急いでおります。
また岩谷林業センターは、建築面積百四十五平方、およびおそ千五百万円で年内完成をめざして施行の予定であり、これらの施設の利用により地域コミュニケーションに大き

水機能障害)は、総事業費六億三百万円で県営事業として五十五年より進めておりますが、五十六年度までは移設する揚水機場の敷地の買収と百八十二名の管理道路を完了しておりますが、五十七年以降は揚水機場の新設が予定されております。
また、太田地区排水対策特別事業(延長二千二百、事業費八千万円)は、五十七年度より着工の見込みであります。

出金二百五十八万八千円(東又、西又、一通の集落移跡地記念碑七十五万円、岩谷林業センター百四十九万八千円等)

▽栄財産区会計

歳入歳出それぞれ二百六十五万五千円。

歳入は繰越金がほとんどです。歳出は、管理会費七十万三千円、山林調査賃金、測量委託、境界用標柱等の総務費は九十万円、一般会計への繰出金九十五万円(小摩当、大沢集落移跡地記念碑五十万円、各種補助金等四十五万円)

▽坊沢財産区会計

歳入歳出それぞれ百六十八万九千円。

歳入のほとんどは繰越金。歳出は、管理会費七十万三千円、総務費五十四万七千円、一般会計への繰出金三十三万円、予備費十万円。

▽沢口財産区会計

歳入歳出それぞれ四百四十四万五千円。

歳入のほとんどは繰越金。歳出は、管理会費三十六万三千円、総務費十萬六千円、諸支出金三百六十二万六千円のうち一般会計繰出金二百六十二万五千円(沢口林業センター備品等三百三十万円、各種補助金三十万円)

▽七日市財産区会計

歳入歳出それぞれ二百十九万四千円。

歳入のほとんどは繰越金。歳出は、管理会費七十四万六千円、総務費七十二万五千円、諸支出金は一般会計への繰出金六十二万七千円(門ヶ沢集落移跡地記念碑、各種補助金)

水道事業会計

五十七年度の業務量は、給水件数二千七百二十件、年間総給水量七十七万三千立方方、一日平均給水量二千百十八立方方、有収水量率八四・三%の業務量を予定しております。

収益的収入および支出の予算額のうち、収入は事業収益九千八百六十万九千円、この内訳は営業収益九千三百六十五万二千円、営業外収益四百九十五万七千円であり、支出は、事業費九千三百二十万七千円、この内訳は、営業費用六千三百二十二万六千円、営業外費用二千二百二十九万九千円、特別損失三十二万五千円、予備費五十万円となっております。

予定損益計算書ならびに貸借対照表では、当年度純利益五百四十三万二千円、未処分利益剰余金五百六十八万円が見込まれております。

資本的収入および支出の予算額のうち、収入は資本的収入十九万五千円で、内訳は固定資産売却代金であります。

支出は、資本的支出千七百二十五万五千円、内訳は建設改良費五百三十八万四千円と企業償還金千七百七十四万四千円となっております。

資本的収入額が資本的支出額に對し、不足する額千六百九十三万円は過年度分損益勘定留保資金をもって補てんすることにして、いたす。また卸資産の購入限度額を四百万円と定め、独立採算制の旨に沿う予算措置となっております。

決定した条例改正

▽特別会計条例の一部改正

「綴子簡易水道特別会計」を「鷹巣町簡易水道特別会計」に改め、「坊沢簡易水道特別会計」「七座簡易水道特別会計」を削除するものです。

▽町税条例の一部改正

納税証明書の交付手数料を「五十円」から「百円」に、督促手数料を「五十円」から「百円」に、木材引取税の税率で杉天然木「二百四十円」を「五百円」に四月一日から改めるものです。

▽印鑑条例の制定について

印鑑の登録および印鑑登録証明書交付の手続きを迅速かつ正確にするため五月一日より改正するものです。

▽手数料条例の一部改正

「印鑑登録証の交付一件につき百円」と修正しました。

ただし、五十七年四月三十日現在登録を受けている方は無料です。

▽消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

団員の定数を「三百七十五人以上」を「三百四十人以上」に改めるものです。

な役割を果たすものと期待いたします。
〔福祉関係〕：長期化する経済不況により、国の財政はもちろぬ、地方自治体の財政運営も厳しい試練に迫られ、加えて行政改革の実行は社会的公平の原則を基調にした福祉政策を原点から見直そうとしておりますが、町としては独自で行っている施策については、新年度も従来どおりこれを継続する考えであります。

乳幼児保育については、町立、私立保育園あわせて七施設に五百四十人の入所を行う予定であり、五歳児および二人以上の園児をもつ保護者に対しては、保育料を軽減するとともに、私立保育園運営費の助成も行う予定であります。また、老朽化している中央保育園の移転新築については、国・県と協議中であり、補助金の見通しがつきしだい補正予算計上し、建築予定であります。

老人福祉については、老人クラブ等を中心に生産活動を主体とした自主活動がしだいに定着してきており、活動費の助成を続けて自ら求める福祉を推進しながら、健康で生きがいのある老後を高めてまいります。

そのためにも、老人健康診査事業を効果的にすすめることと、在宅福祉活動促進事業および在宅老人日常生活支援促進事業を包括した総合的な老人福祉をめざして、家庭奉仕員をはじめ、家庭介護人、民生児童委員等、福祉関係者の連携を深めて一層の充実強化をはかりたいと思っております。

身障者福祉については、町身障者更生協会の自主活動を促進するため、助成を続けるとともに、老人福祉活動と併行した家庭奉仕員による巡回訪問、ボランティア団体による奉仕活動、障害者地域懇談会、相談活動等の充実をはかりたいと思っております。また老人居室、身障者居室整備資金の適正な運用と併せて、世帯更生資金、助け合い資金の運用をはかりたいと考えています。

消防・防災・防火水槽：消火栓は地域性を勘案しながら年次的に設置して消防水利の確保につとめ、消防機器の更新機具置場の改築についても、順次整備しながら町民の生命財産の擁護に尽くしてまいりたいと思っております。

また、消防団員の士気の高揚と有事の対応をめどに規律および操作訓練をはじめ、地域防災訓練を積極的に進めるとともに、団員の地域巡回、広報活動による予防活動も徹底する所存であります。
交通安全対策：死亡事故ゼロを目標に、事故件数、傷者

〔別表〕 旅 費 の 改 正 額

区 分	車 賃 (1キロ)	日 当 (1日)	宿泊料(1夜につき)	
			県 内	県 外
三 役、教 育、長 員 議 長、副 議 長、議 員	町内30円 町外60円	1,700円	7,500円	8,500円
非 常 勤 特 別 職	//	1,600円	7,000円	8,000円
自治法による関係人出願	//	1,600円	7,000円	8,000円
一 般 職(一等級)	//	1,600円	7,000円	8,000円
一般職(その他の職員)	//	1,500円	6,500円	7,500円

▽山林振興センター設置条例の一部改正
 沢口林業センターおよび緑ヶ丘担い手センターが完成されるので、条例の一部を改めるものとす。

▽財政調整基金条例の一部改正
 第二条を「基金として積立てる金額は、予算で定める」に、第四条を「基金の運用から生ずる収益は、一般会計歳入歳出予算に計上するものとする」と改めるものとす。

▽国民健康保険財政調整基金条例の一部改正
 第五条を「基金の運用から生ずる収入は予算に計上するものとする」と改めるものとす。

▽地方自治法等の規定により出頭した関係人等の実費弁償に関する条例の一部改正

▽字界の変更について
 大野尻地区で土地改良事業を行ったので字の境界を変更されたものとす。

▽財産処分について
 栄財産区有の山林、原野、合計百八万四千六百一十平方メートル、地域関係者百十九人に二千三百三十万九千三百三十六円で払いさげるものとす。

▽鷹巣外六カ町村衛生施設組合規約の一部を変更する規約の協議について
 住居表示に伴ない事務所の位置を鷹巣町花園町十九番一号に改めるものとす。

▽鷹巣阿仁広域市町村圏組合規約の一部を変更する規約の協議について
 「特別養護老人ホーム」を「広域特別養護老人ホーム」に改めるものとす。

▽簡易水道事業(摩当地区)の経営について
 給水区域は摩当地区、給水人口五百人、給水量は一日最大給水量百三十八立方メートル、一日平均給水量百四立方メートル、一人一日最大給水量二百七十六リットル、一人一日平均給水量二百八リットル、総事業費一億五千九百六十六万六千円(繰入金千六百六十九万六千円、国庫補助金四百七十九万四千円、起債八千五百八十万円)、工事期間は五十七年四月一日から五十八年三月三十一日までとなっておりますが、国庫補助金等の関係で継続(二カ年)の場合も考えられます。

決定した議案

▽特別職の職員で常勤のもの給与および旅費に関する条例の一部改正

▽議会の議員の報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正

▽特別職の職員で非常勤のもの報酬および費用弁償に関する条例の一部改正

▽職員等の旅費に関する条例の一部改正

▽工事請負変更契約締結について
 五十六年七月一日に契約を締結した林構林道開設工事(柵木岱線)において、設計変更が行われたため、当初契約金額に五十三万円を増額、変更契約金額は四千九百五十三万円。▽請負者 堀井組・堀井三治郎

継続審議の議案

▽町道路線の認定について

採択となった請願

▽核兵器完全禁止と軍縮を国連と政府に要請することについての陳情(原水爆禁止秋田県協議会会長 佐藤裕二)

▽たばこ、塩専売制度存続に関する請願(鷹巣町葉たばこ耕作組合長 花田正ほか一人)

▽第九次道路整備五カ年計画の策定に関する陳情(国道七号線拡

を減少させるため、道路等、交通安全施設の整備をはかるとともに、関係機関、団体の連絡強調を一層強め、全町民が一丸となって事故撲滅をめざしてまいります。

〔商工労働関係〕：二年続きの冷害は、当町の産業経済に悪影響を与えており、また昨年後半から景況が上向くのではと予測されていましたが、中小企業の設備投資停滞、個人消費の一進一退、住宅建設の低水準等により、不況のまま足踏み状態を続けております。したがって、今後とも地元業者自体の資本の充実、合理化を含めて体質強化が迫られております。

労働関係では、労働福祉の向上を図るため、労働金庫、労働者信用基金協会、勤労者住宅生協に対して預託を継続してまいりました。

また出稼ぎ援護対策では、健康診断の励行、互助会加入の促進等、労働条件の向上と安全就労に努めてまいります。商工関係では、産業の発展をめざして、各団体などの意志疎通を図り、地場産業の掘り起こしや、関係団体の育成強化およびそれらの助成を継続してまいります。

また、資金需用に対処するため、保証料の補助ならびに中小企業振興資金、商工中金に対し預託を継続してまいります。

〔保険衛生関係〕：成人病対策は、社会的にも重要な位置を占める中高年齢層を対象としていますが、この年代は医療問題のみならず、社会問題としても重要施策として取り上げ、このような社会的背景にあつて、具体的な対策として予防医学的見地から疾患を早期に発見するための各種検診、また健康の増進という観点から罹患しないように積極的の健康づくりを行うことを主眼として、問診や各種医学的検査を基本に生涯にわたる健康づくりを進めていきます。

住みよい生活環境づくりについては、浄化の推進する思想の普及と指導を行うとともに、ごみ収集についてはすべて委託方式を採用し、民間の能力を開発しながら経費の節減をはかっています。

次に家庭のごみの正しい出し方については、広報等を通じて意識の高揚につとめてきたところでありますが、可燃物、不燃物の分別、収集日以外の集積等はまだまだ完全でなく、また資源ごみの活用と合わせ、協力を働きかけていきたいと思ひます。

健康の保護、生活環境の保全に関する検査も、測定結果からは正常であるが、排水水質規制、汚物等の投棄規制、

幅改良促進期成同盟会長 能代市長 西村節朗)

▽郵便貯金問題についての請願書 (秋田県民間金融団体連絡協会代表秋田県銀行協会会長 井上介ほか八団体)

▽農畜産物輸入自由化、梓拉大阻止と畜産酪農政策確立等に関する要請書 (沢口農業協同組合組合長理事 佐藤実ほか十一団体)

決定した意見書

▽所得税減税の早期実施を求める意見書の提出

▽教育の充実と青少年非行防止に関する意見書の提出

▽核兵器の全面撤廃と軍備縮少の推進に関する意見書の提出

▽たばこ、塩専売制度存続に関する

る意見書の提出
▽第九次道路整備五カ年計画の策定に関する意見書の提出

不採択となった請願

▽靖国神社公式参拝実現に反対する陳情 (靖国問題秋田県宗教者連絡会議代表者 片野安久利)

継続審査となった請願

▽学校薬剤師の報酬改善についての請願書 (鷹巣町学校薬剤師会会長 岩川貢)

▽高額療養費の受領委託の方式の実施を求める陳情書 (秋田県厚生連労働組合北秋支部長 小塚弘ほか七百人)

五十六年度一般会計

四十七億八千万円余りに

財調基金に一億円追加

▽五十六年度一般会計補正

五十六年度一般会計は、三千百五十八万千円を追加し、歳入歳出予算の総額はそれぞれ四十八億千五百七十五万八千円となりました。

(歳入)

歳入では、▽町税四千二百九十三万二千円 △五千三百五十三万五千円 △県支出金七百七十万円 △財産収入二十八万六

千円 △諸収入百七十八万七千円をそれぞれ追加。

▽分担金及び負担金三百九十五万八千円 △使用料及び手数料百三十三万八千円 △国庫支出金三千四百五十万五千円 △寄付金五万二千円 △繰入金十

六千円 △町債三千七百八十万円をそれぞれ減額しております。
(歳出)

▽議会費 一十七万円を減額。報償費五千万円、旅費三十万円を減額し、需用費十三万五千円を追加。▽総務費 一億二千三百三十六万円の追加。

主な内容は財政調整基本積立金に一億円(総額で三億円)、退職手当組合特別負担金六十六万九千円、黒森部落会館敷地購入補助金三十六万円、地方バス路線維持費補助金(明利又、岩谷、摩当線等八路線)千五十七万九千円、駐車場設置促進補助金七十五万二千円、広域市町村圏組合負担金八百九十二万六千円をそれぞれ追加しております。

▽民生費 四百五十六万六千円を追加。主な内容は私立保育所措置費四百三十万八千円、障害児保育事業補助金四十六万円、給食助手委託料五十九万四千円などをそれぞれ追加。敬老式祝品および敬老祝金六十一万五千円、児童福祉扶助費四十三万五千円などをそれぞれ減額。

▽衛生費 八百三十二万千円を減額。主な内容は成人病予防対策事業検診等委託料三十七万七千円、伝染病患者委託料五十一万四千円、墓地公園特別会計繰出金四百三十四万二千円、埋立地ブルドーザー借上料七十五万七千円などをそれぞれ減額。

▽労働費 出稼対策費で八千円の減額。

▽農林水産業費 千七百十万八千円の減額。主な内容は農作物種子購入事業補助金五百四十二万千円、農作業受委託等促進事業補助金四十八万八千円、地籍図保管

家庭汚水の浄化対策等に取りくんでまいります。

(建設土木関係) : 道路関係で道路改良は、継続の坊沢前山を起点に約六百メートルを実施予定のほか、松原、岩谷線の自衛隊への委託、国庫補助により七日市、松沢線の大畑、黒黒間の狭い部分二百十メートルの拡幅改良等、十六路線約五千メートルの改良を予定しています。

また舗装工事は、既に改良工事の済んでいる坊沢、前山線をはじめとして、七路線約三千メートルの舗装を予定しています。

排水整備は、五十六年度から実施中の古堰排水路を約三百メートル改良を予定しています。

橋梁関係は、国庫補助事業として三カ年の計画で黒森橋の架替に着手予定のほか、合川、宮林署と合併施工で、今泉沢二号橋を永久橋化するほか、秋田渡橋、小ヶ田橋の上部工を実施予定しています。

河川関係では、小ヶ田地区のは場整備に関連し、湯車川を災害関連事業で改修を行う予定で、延長は約二千六百メートルで三カ年の計画であります。

都市計画関係は、下水道整備として中倍都市下水路二号幹線を約七十メートルの施工が予定されています。

公営住宅は、昨年度に引き続き胡桃館団地に簡易耐火構造二階建二棟(十二戸)の建築が予定され、なお在来の木造平家建住宅二十戸を取りこわします。

災害復旧事業は、五十五年災二十三カ所、五十六年災を二十カ所、計四十三カ所を復旧予定されております。

(水道関係) : 上水道事業については、五十六年度をもって公営企業の経営基本原則にそった運営をすることができました。

本事業も各施設を総合整備点検を行い、特に電気機械計装施設等の管繕を計画し、飲料水の供給操作に対し万全を期したいと思っております。また、量水器の更新百八十件を計画し、給水装置等の管理面を強化すると同時に、未加入者の解消に一層努力したいと考えております。

簡易水道事業については、これまで各地区ごとに特別会計を設置していましたが、事業および業務等の合理化を図るため、特別会計設置案を改正し、簡易水道の一元化を期したいと思っております。

綴子地区においては、岩谷から大畑間の一部送水管敷設替工事と、大畑・田子ヶ沢橋の橋梁添架工事を計画、また坊沢、七座地区においては、隣接地区界の未配水管敷設簡

庫外三十一万円、大摩当線林道開設工事費負担金三十一万四千円、森林災害保険料二百六十六万円を追加。農用地利用増進特別対策補助金四十二万三千円、農地費五十五万六千円、造林費(植栽、作業道整備)二千二百六十八万七千円を減額。

▽土木費 三十四万七千円を減額。労働費 九百六十三万三千円を減額。主な内容は作業員退職慰労金四百五十四万円を追加。広域道路特別負担金百十七万二千円、中岱都市下水路工事千四百九十九万八千円、中央公園用地買収費七十八万八千円を減額。

▽消防費 百十二万八千円を減額。内容は広域消防組合負担金七十七万五千円の減額が主。

▽教育費 百七十三万三千円を減額。主な内容は石倉山スキー場造成補助金四十七万円、諸大会選手派遣費補助二十六万五千円を追加。小学校燃料費百七万五千円、理科備品百万円、幼稚園臨時教諭賃金四十五万円をそれぞれ減額。

▽災害復旧費 五千五百三十八万七千円を減額。主な内容は県営災害三堰地区事業費負担金七百三十七万九千円、災害復旧工事四千七百七十三千円、測量器具等五十九万六千円の減額です。

56年度特別会計補正

▽国民健康保険会計補正 三千六百万円を追加し、歳入歳出の総額は十億四百三十九万

八千円となります。
歳入では、冷害による減免で保険税四百万円を減額。国庫支出金の療養給付費負担金千三百十五万七千円、繰越金二千八百六十四万三千円をそれぞれ追加。歳入は療養給付費三千万円、高額療養費六百万円を追加しております。

▽墓地公園会計補正 三百九十七万五千円を減額し、歳入歳出の総額は二千三百九十九千円。
歳入は墓地使用料及び手数料三十六万七千円を追加。繰入金四百三十四万二千円を減額。
歳入は旭町墓地移転工事費等の減によるものです。

▽宅地開発事業会計補正 四百七十七万七千円を減額し、歳入歳出の総額はそれぞれ二百七十三万七千円。
歳入は土地売却収入による減額。歳入は契約解除による還付金の減額。

▽繰り財産区会計補正 二百十万円を減額。歳入歳出のそれぞれの総額は五千九百四十一万七千円。
歳入は配当金十二万四千円の追加と繰越金二百二十二万四千円の減額。歳入は林構林道用地及び立木補償費負担金九十五万七千円の追加と一般会計繰出金三十七万七千円、柵木岱林道負担金四十六万六千円、官行造林契約解除に伴う共有立木の取得費

二百八十一万円の減額。
▽栄財産区会計補正 三千三千元を追加し、歳入歳出それぞれの総額は千九百三十三万五千円。
歳入は配当金十萬八千円の追加と繰越金七万五千円の減。歳入は出資金の追加と一般会計繰出金の減額によるものです。

▽坊沢財産区会計補正 十萬五千円を追加。歳入歳出のそれぞれの総額は千二十八万五千円。
歳入は配当金と繰越金によるもの。歳入は出資金と一般会計への繰出金による追加。

▽沢口財産区会計補正 一萬八千円を減額。歳入歳出の総計は百八十四万二千円。
歳入は配当金による追加と繰越金の減額。歳入は出資金の追加と一般会計繰出金の減額。

▽七日市財産区会計補正 二百七十一万九千円を追加。歳入歳出のそれぞれの総額は千六百三十三万二千円。
歳入は官行造林立木売却収入二百六十二万九千円、配当金八万二千円の追加。
歳入の主な内容は財産管理人夫賃四十万六千円、除間伐事業二百四十万六千円の減額。官行造林売却分収交付金五百十五万四千円、一般会計繰出金(黒森部落会館敷地購入費三十六万円を含む)三十八万九千円の追加となっております。

所の連結工事計画し、簡易水道施設の維持管理面の強化に努めていくつもりです。
また、摩当地区の簡易水道は、補助事業として今年度より着工し、できれば年度内に完成させたいと思います。規模は、給水人口五百人、給水量は一日最大百三十八立方尺、平均百四立方尺、一人一日最大給水量は二百七十六リットル、平均二百八リットルを見込んでおります。

【教育関係】：社会の急激な進展の中で、教育の使命はますます重要となり、教育の振興は人づくり、町づくりの根源であると考えます。このような見地から、教育環境、教育的条件の一層の整備拡充を図り、質的深化を期してまいります。

幼児教育面では、園児の健康を第一に集団生活になれさせ、生活の初歩的、基本的なきまりを身につけさせることを重点に、一層の充実と整備の強化を図ってまいります。関連して、家庭教育の重要性を強調して進めてまいります。

学校教育面では、新教育課程の趣旨を生かし、地域的特色ある経営を推し進めながら、苦しみに耐え、たくましく生き、思いやりのある人間の育成を根幹として、基礎学力の増強とともに自ら学ぶ意欲を育て、勤労尊重、郷土愛、非行防止を強調してまいります。

また、教師としての自覚と意欲のもとに、豊かな識見や実践力を身につけていくよう積極的な研修を進め、その力量を高めてまいります。

鷹巣小学校の移転改築については、教育の新しい理念にふさわしく、充実したゆとりのある、楽しく学べる学校像を求め、事業進行に全力を傾注してまいります。

また、各校の施設整備については、校舎内外塗装、床張りかえ、アルミサッシ取りつけ、教室改装、排水改良など、学習環境の整備に努力してまいります。

社会教育面では、青少年の健全育成を重要な柱のひとつとして、社会教育関係者と学校との連携を図りながら、住民の理解と関心を深め、活動を促進するつもりです。

昨年独立した地区公民館は、運営の充実を図るとともに、特色ある地域活動の活発化を推し進め、連帯と自治によるコミュニティづくりを推進したいと思っております。

社会教育施設の環境整備をすすめ、効率的な活用をはかりながら、各種団体、グループのリーダーを養成し、自主運営の推進につとめ、生活文化の向上とスポーツの生活化をはかりたいと考えてあります。

所

七日市地区の一部で地籍調査

4月5日から説明会を開催

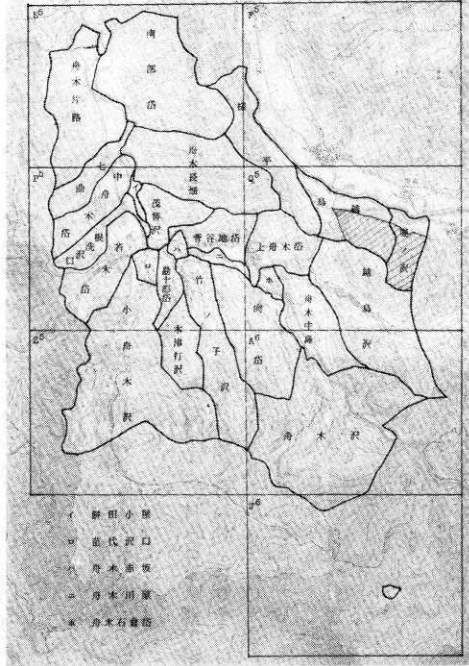
町では昭和五十四年から地籍調査を計画的に実施していますが、ことしは、昨年引き続き七日市地域の十四・七六軒について調査を行うことになりました。

地籍調査は、正しい測量によって新しい地図と帳簿（地籍図と地籍簿）を作り、一筆ごとの正しい位置、形、地番、地目、面積を明らかにするための調査です。

調査が完了すると、区画整理をはじめ土地改良事業や、土木事業などいろいろな建設事業の計画をたてたり、作業能率を高めることができます。

また災害その他の理由により、

鷹巣町地籍調査位置図



＝地籍調査説明会＝

開催月日	会場
4月5日(月)	明利又生活改善センター
6(火)	松沢会館
7(水)	黒森会館
8(木)	三の渡会館
9(金)	与助岱会館
10(土)	葛黒林業センター
11(日)	吉ヶ沢会館
12(月)	上舟木生活改善センター
13(火)	下舟木会館
14(水)	七日市基幹集落センター

いずれの会場も午後7時から行います。

現地の境界が不明になっても、新しい地図で境界を復元することができます。

ことしは七日市地域の明利又、松沢、黒森、三の渡、与助岱、葛黒、上舟木、下舟木、吉ヶ沢地区の調査をするため準備を進めております。

町では調査をスムーズに進めるため土地所有者の理解と協力をいただくよう、次の日程で説明会を開催することになりました。

お忙がしのところ恐れいますが、該当地区に土地をお持ちの方は、最寄りの説明会場へおいでください。

おしらせ

スポーツ傷害保険

この保険は、スポーツ団体、および社会教育団体のうち、指導監督者を置き、十名以上の常時明確に把握されている団員で構成されている団体を対象とします。

保険料は、年に一人当たり、小中学校の児童生徒などで構成された団体＝三百四十円。学生あるいは社会人により構成された団体＝四百円。地域スポーツクラブ＝六百八十円と区分されています。

保険金額は、傷害程度に応じて支払われ、最高限度額は千二百万円、入院保険金日額は千五百円、通院保険日額は千円となっています。

保険期間は、五十七年四月一日から五十八年三月三十一日まで。

加入申し込み用紙は、教育委員会社会教育課または鷹巣体育館にあります。

広域合川球場使用申し込み受付

広域合川球場では、野球シーズンにそなえ、使用受付を開始しています。

使用ご希望の方は、合川高校事務局球場係（電話 合川三一七七～八）へ申し込みください。お問い合わせも同様へ。

▽使用期間 四月二十日～十月三十一日まで。

町長日誌

3月1日～3月15日

- 1日 全町町内協力委員会議
- 2日 鷹巣高等学校卒業式
- 林道黒森線および林道水無沢線竣工祝賀会
- 3日 鷹巣農林高等学校卒業式
- 鷹巣阿仁地域救急医療対策協議会小委員会
- 4日 町長と語る会＝栄地区
- 5日 国保運営協議会
- 町内医療団体等の業務協議会
- 8日 沢口地区自治研修会
- 9日 鷹巣阿仁地域救急医療対策協議会総会
- 14日 鷹巣南中学校卒業式
- 鷹巣職業訓練協会理事会
- 鷹巣中学校卒業式
- 15日 秋田県スポーツ振興審議会＝秋田市
- 11日 午前五時～午後九時

停電のおしらせ

四月の作業停電は、次の地区です。

▽8日 松沢、明利又

▽20日 材木町、掛泥

▽27日 上野

※時間は、いずれも午前九時から正午まで。

食肉センター機能アップ

豚一日百頭処理できます

脇神字川戸沼内恵士・鷹巣阿仁食肉センターは、昭和四十八年八月に開設されて以来、この地区の畜産振興と食肉の安定供給をはかってきました。

当初は一日の処理頭数が豚換算で五十八頭でしたが、豚の生体量が九十%から百%以上になったことから浄化槽施設が排水を十分処理できなくなりました。また施設の老朽が目立ち処理頭数も、ここ数年は五十頭前後におさえられていました。

このようなことから鷹巣阿仁広域市町村圏組合(管理者 出川禮一 鷹巣町長)では、処理頭数のアップと作業能率を高めるため、五千六百八十万円を投じて自動豚皮

剥機の設置と浄化槽施設の改築をこのほど行いました。

自動豚皮剥機は千二十九万二千円。一頭の処理時間は簡単な前処理をすると、一分以内できれいに皮が剥とられ、作業能率のアップと皮も製品価値が高まり、歩止ま

綴子小 宮野くん

文部大臣奨励賞に輝く

障害児とともに生きる友情の作文と図画コンクールで、綴子小学校六年・宮野浩法くんが小学生図画の部で、全国でただ一人、文部大臣奨励賞を受賞しました。

宮野くんの作品「工事現場」は学校付近で写生したもので、自分の目と心で感じたままを、素直に描き、シャベルローダー、バックホンの力強さが構図に表現され、色彩もよくまとまっています。

さきに行われた、県の審査では県教育長賞を受賞。県代表として同コンクールに出品しました。

全国から一万二百八十四名の応募があり、審査の結果文部大臣奨励賞(小学校一点)に選ばれました。

りも良くなったと関係者から喜ばれています。

浄化槽施設は諸工事費を含めて四千八百八十八万円。一日の排水処理量百tという高性能で、豚換算で百頭処理が可能となり、従来の二倍の頭数が処理されることになりました。

ほかに、と畜場が手狭なことから四百五十万円をかけて大動物処理場を増築しましたので、同センターでは経営の安定と、地域の畜産振興と消費者に食肉を安定供給させる役割をはたしたいとしています。

表彰式は、三月六日東京都・国立教育会館で行われ、宮野くんはお父さんや五十嵐先生に付き添われて出席。賞状と記念品として腕時計が授与されました。



春の全国交通安全運動

＝ 4月6日から15日まで ＝

◆重点目標

- ▷ 子供と老人および身体障害者の交通事故防止
- ▷ 自転車および原動機付自転車の安全利用の促進
- ▷ 飲酒運転等無謀運転の追放と安全運転の確保
- ▷ シートベルト着用の促進



新入学(園)の子供を

交通事故から守りましょう

町長と語る会

沢口地区

三月八日午後一時から沢口農協で、沢口地区の「町長と語る会」が開かれ、各集落、団体の代表約三十人が出席しました。

語る会で、出川町長が行政全般にわたって報告したあと、各集落ごとに要望が出され活発な意見交換がなされました。出された主な要望は、▽中央小学校のゴミ集積所を移してほ

しい「検討する」▽三部落(坊山など)に運動公園がほしい「敷地は地元で用意してほしい」▽南鷹巣からの通学路の整備について「整備したい」

▽中学校の二校制について「学区は教育委員会で決めることだが、二校制がのぞましい」▽台風で消防のサイレンが壊れた「早急に取り付けたい」などとなっています。

国民年金

4月からかけ金が
1カ月5,220円に

国民年金の保険料は、毎年引き上げられておりますが、年金の支払額に対し大変低くおさえている現状であります。現在の給付水準を維持していくためには、一カ月八千八百二十円の保険料が必要となっており、急激に引き上げると、保険者に過大の負担を強いることになるため、毎年段階的に引き上げをしているところであります。近年は、人口の高齢化が急速に進み、平均寿命も毎年のように伸びている中で核家族化が進行し、老後の生活設計において、年金の果す役割がますます大きくなりました。

三月・四月は、就職・転勤などの移動の激しい時期です。昭和五十六年度(56・4・57・3)保険

56年度保険料
四月三十日まで

年度	必要保険料	実際保険料	不足額
50	4,960	1,100	3,860
51	5,040	1,400	3,640
52	5,150	2,200	2,950
53	6,400	2,730	3,670
54	7,000	3,300	3,700
55	7,925	3,770	4,155
56	8,150	4,500	3,650
57	8,820	5,220	3,600



年金額比較表(案)

(提出年金) 8月実施

40年加入	(月額) 72,441円 → 75,733円
25年加入	// 45,275円 → 47,333円
障害年金(1級)	// 56,325円 → 58,883円
障害年金(2級)	// 45,058円 → 47,108円
母子年金	// 60,058円 → 62,108円
10年年金	// 28,625円 → 29,925円
5年年金	// 24,367円 → 25,467円

(福祉年金) 9月実施

老齢福祉年金	(月額) 24,000円 → 25,100円
障害福祉年金(1級)	// 36,000円 → 37,700円
障害福祉年金(2級)	// 24,000円 → 25,100円

料は、お済みですか。.....
お手元の領収証をもう一度お確かめください。まだ納められていないときは、四月中に必ず納めましょう。
納付期限を守らないと、万一のときに取り返しのつかないことになり、後悔することになります。
※納付書の無くなった方は、係に至急連絡ください。

あなたも

保険料口座振替で

◆申し込み手続
振替申し込み書は、町内各銀行農協、信用組合の窓口にて備え付けてあります。
イ、引落しする預金通帳と口座印、振替希望者の保険料納付書を添えて申し込みください。
◆振替できる口座
保険者本人名義の口座は勿論、配偶者など世帯員(家族)名義の口座も利用できます。
お宅では、保険料を口座振替で納付しておりますか。本町では、現在、振替納付者が千七百人をこえております。利用者の皆さんから、「手間が省け、納め忘れもなくなりました。」と大変好評を得ております。未だお済みでなかったら、五十七年度分の保険料から振替してみませんか。
国民年金のかけ金は、四月から五千二百二十円になります。一方年金額も毎年のように改定され、今年度は、八月からスライド制実施により、四・五パーセントの引き上げが予定されております。(福祉年金は別)

受給もこんなに

変わります

春の火災予防運動

＝4月4日(日)から10日(土)まで＝

みんなで 注意しよう火の後仕末

昨年の町の火災件数 6件 被害額 81,142千円



有意義だった地区座談会

～青少年育成鷹巣町民会議～



町民会議つてなあー！？

県が提唱している「春の青少年健全育成運動」が
▽住みよい生活環境づくりにつとめる
▽声をかけ合い、青少年に自立の心を育てさせる
▽非行や、事故防止につとめる
…を重点目標に、去る三月二十一日から、四月十八日まで実施されます。

町民会議（青少年育成鷹巣町民会議・会長 中島喜代）は、次代を担う青少年の心身共に健やかな成長を、町民すべての願いとして昨年十一月に発足しました。三役、常任委員（十八人）の外に、専門部を設け、それぞれの立場から、「健全育成」をめざして活動することになっていきます。

春は、青少年にとって入学、進学、進級、就職など最も大事な時期です。反面、長い冬の生活から解放されて、心が浮き立ち動揺しやすい時期でもあります。一人の非行者も出さないよう、皆がこの運動に参加して欲しい、と呼びかけています。これに呼応して鷹巣町民会議地区座談会が各地で開かれました。

▽総務部〓情宣活動、実態調査、会員の募集等
▽青少年活動部〓映写会、青少年交流会、リーダー研修等
▽地域活動部〓地区巡回懇談会、地区推進委員会の設立等
▽環境部〓有害誌、ポスターの除去運動、清掃日の実施等
町民会議は年度途中の設立で、

残り五十六年度、何をすべきか、真剣に協議しました。その結果、町民会議が何んであるか、まだ十分理解されていない事、地域住民の声を町民会議に反映させたい、等の考えから、地区を巡回して、座談会を企画し、実施してきました。

望まれる速やかな地区推進委員会の設立

地区座談会は、鷹巣、沢口、綴子、坊沢の四カ所で行われました。各地区町民会議の会員、推進委員、部落会長（町内会長）、それに学校を通して一般の人達に参加を呼びかけましたが、座談会にご出席いただいた方は、各地区とも少人数でした。それでも、真剣な話し合いの中から、地域でかかえている複雑な問題点、町民会議のあるべき姿まで、貴重な意見が出て、大変有意義でした。

今まで、青少年に関する問題のもって行き場所がわからなかったが、ようやくわかった、と喜ばれた反面、町民会議のP・R不足が指摘されました。

そのためにも、参加された方々が窓口となつて、町内会、部落会へ、町民会議を浸透させる役割を担うこと、町民会議会報の発行等が確認されました。

と同時に、地域の問題点を把握し、町民会議との連絡調整を図るためにも、地域の関係機関（PTA、子ども会、地区推進委員等）の役割を明確にしながら、一日も早い「地区推進委員会」の設立が熱望されています。

郷土史年表

西暦	昭和	時	代	事項
一九二九	昭和四		一九三〇	〇十一月二十九日 田中隆三・浜口内閣の文部大臣となる 〇十二月二十七日 前田村の小作争議が和解す 〇県道、鷹巣、上小阿仁線を上大野まで開く 〇北秋田郡教育会、部会組織成立す 〇教員の俸給不払い、減俸、全国に拡大す 〇四月 栄農業補習学校を設立す 〇四月二十二日 ロンドン海軍軍縮条約調印 〇五月 黒金鉄道次官、阿仁鉄道計画路線を視察す 〇六月二十二日 綴子小学校校歌制定 三沢一郎訓導作詩・達子勝蔵校長作曲（北秋田郡内では初めてのこと） 〇六月二十六日 沢口小学校、児童の奉仕作業により奉安殿の築堤を完成す 〇八月十二日 鷹巣町青年団と改称す 〇九月十日 米価暴落し一九一七年以来の安値で、豊作貧乏となる 〇十月一日 国勢調査 鷹巣町（現鷹巣地区）の人口四、七三一人、戸数八二〇 〇十一月十四日 浜口首相狙撃されて重体 〇十一月 鷹巣耕地整理工事完了す 〇碑方弘毅（熊本県出身）秋田県知事に任命 〇二月二十五日 阿仁銅山休山となる 〇四月一日 小摩当分教場を廃し、当部落児童を沢口小学校に委託入学させる
一九三一	昭和六			

（次号へつづく）



絵画クラブでチャリティー展

鷹巣絵画クラブ（神成正雄会長 会員45人）は、3月10日から15日まで中央公民館ホールで「チャリティー絵画展」を開催しました。同展には、会員の優れた作品26点（2号サイズ）が出品され、1万円で希望者に頒布しましたが、そのうち20点が愛好家の手に渡るという好評さでした。クラブでは経費を差し引いた6万円を恵まれない人へと、社福協へ寄付しました。



在宅身障者を温泉に招待

社会福祉協議会では在宅重度身障者を3月16日、湯ノ岱温泉「山亭」に招待し慰労していました。

当日は、手足や耳の不自由な老人と付添い合わせて30人が招待を受けたもので、バスで送迎、温泉につかってのんびりと体と心を癒やし、湯治気分を存分に味わっていました。昼食時にはお酒が振る舞われ、マイクを片手に自慢のノドを披露していました。



北秋田農協婦人部主催による「第10回生活工夫展」が、3月7、8の両日中央公民館で開かれました。

出品物は衣、食、住に関するもの 292点。いずれも創意工夫をこらしたもので、訪れた多くの婦人たちは、熱心にメモを取っていました。町からは、山城ヨシ子さんの「干餅」と、千葉幸子さんの「ベストとカバン」が優秀賞に入りました。

生活工夫展に292点出品



3月10日から12日まで、東京代々木オリンピックセンターで開かれた全国青年農業者会議で、町の農業後

継者の研究グループ・農業近代化ゼミナール（畠山幸信会長 会員19人）は共同、個人プロジェクトの実践力が高く評価され農林水産大臣賞を受賞しました。また地域農業の振興に力を注いだ藤島茂男氏は農蚕園芸局長から、町では全農教育振興会長から感謝状を授与。

農近ゼミ大臣賞に輝く



公民館のついで

「母親まかせの家庭教育」と言われる昨今、栄地区三部落(大沢、李岱、田沢)にユニークな学級が四年前に誕生し、活動を続けています。

三部落合同の夫婦学級交流会も



大沢夫婦学級

企画するなど、新しい学級形態として注目されています。

◆大沢家庭教育夫婦学級

子どもの健全育成をテーマに、低迷状態だった子供会活動の建て直しから始めました。夫婦が一緒に活動できる、いきっかけになつたようです。

活動内容は、親子遠足、親子読書、親子スポーツなどで、今では子どもにも、親にもなくてはならない大きな寄り所となっています。また、三年前には、部落の協力で念願の遊園地も完成し、部落ぐるみで青少年の健全育成につとめています。学習したことが、そのまま家庭につながるのも、夫婦学級の良さだと思います。

学級紹介

旧仲町婦人学級

町内会も無く、県職転勤者が多い旧仲町は、何んとなく「よそよそしい町内」と、イメージがありました。

三年前、婦人の団結で、明るく助け合う町内づくりを目標に誕生しました。最初は、何かゴコチないグループでしたが、前会長(島山昭子さん)の努力で、次第に仲

(代表 田村セツ子)

◆李岱家庭教育夫婦学級

戸数十二の栄地区では、一番小さい部落です。しかし、夫婦合せて二十人の会員がいます。

夫婦学級を始めて、よかつた点は、二人で勉強する安心感、それに、二人そろって出歩く楽しさです。今年は、親子体力づくり、花だんづくり、しつけの問題などを学習しました。花だんづくりは、着々と進み、「花と笑いのある部落」をめざして、がんばっています。(代表 島山由美子)

◆田沢家庭教育夫婦学級

十六人の夫婦学級ですが、何か行事をもつと、部落ぐるみで参加します。「田舎の子」という気持ちを無くし、明るく元気な子供にしたい、と願っています。(代表 亀山良子)



ふるさと人物伝 23

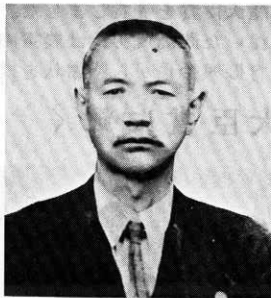
佐賀徳治

一八八六一一九六六

戦時中に鷹巣小学校や実科女学校に在学された人であれば、誰でも佐賀校長先生のこと、印象にあると思う。長身で骨格の大きい方で、手にそうじ用具を持ち校舎をまわって歩かれていた姿や、連日の陣場倍開墾のことを思い出すことであろう。

彼は明治十九年五月五日七座村黒沢の大川家に生まれ、のち大館市向町・佐賀氏を継ぐ。

彼は明治四十二年、秋田師範本科一部を卒業。若き教師として教育に情熱を傾けると共に、植物、地質研究に没頭し、夏休みに仙人のような姿で山野を踏破するのを常とした。その範囲は、北はカムチャツカから中



国大陸及び台湾に及び、著書も多く全国的な権威者となった。

鷹巣小学校校長兼町立実科女学校長としては昭和十年から二十一年までで「実践躬行」「不撓不屈」の佐賀精神で貫かれた十年間であった。校舎の大増築から始まり校地の一大庭園化、食糧増産のための陣場倍開墾約十畝は、校長を陣頭に教師と児童生徒一丸となつての苦闘であった。

また、各教科の教材製作にとりくみ、とりわけ師弟一体となつて作りあげた地図の立体模型は各方面から後々まで高く評価された。

彼は若い時から毎月計画的に図書を購入し、植物、鉱物、地質等の専門書や原書、欧米の地理書など、貴重な多くの図書を学校の応接間に備えつけ、自由に開放した。玉川大学、小原園芳総長が来校の際、「小学校長で原書を読める人は全国的にもないことだ」と激賞された。

彼が常に口にする言葉に「好きこそもの上手なれ」「人間は大自然の子である」「教育は愛情である」と……。

昭和二十一年退職後は大館公民館主事、大館桂高校講師として専門の知識を生かして活躍され、昭和四十一年四月二十六日八十歳で死去された(資料 二階堂善三氏の書かれた「教育秋田三四三三号」教育人物誌)による) 中央公民館長 長崎 久

みんなの広場



みやますみれ

栄の鞍山風穴に生えて
いる高山植物。花は葉の
伸びきらないうちに開く。

(理科センター・阿部達雄先生)

我が家の一年生

舟見町 池田 文子(35)



冬の寒さが厳しいほどにこのうららかな春の日和は、私の心をとてまなごませてくれます。

卒業・就職・入学のシーズンを迎え、我が家にも晴れて小学一年生の入学のお許しを得た、甘えん坊の二男がおります。
結婚して二児の母となり、無我夢中で育てて二男もさほど手のかからなくなった今、ようやく母親

としての自分を考えさせられていきます。私も何年か前ちょうど今頃の季節に、学校も卒業し就職試験も終わったので、あとは勉強はしなくともよいのだなあ(一生、勉強なのだ)と耳にはしていたが)なんて考えていました。
ところが、子は親の鏡であると教えてもらってから初めて、実にそのとおりだ。子は親の姿をそのままに実演する名だと、心からそう感ずることはかりです。長男を叱りながら挙げる欠点の一つ一つが、実に私にそっくりだということに気づかされるのです。朝寝坊に始まり、整理整頓の悪さ、その他いろいろ。これは目に見える部分ですが、きっと心の中までも、子供達は澄んだ目で見透かしているに



ぼくのお母さん

ぼくのお母さんは、ふだんはともやさしいお母さんです。
この前、ぼくが、かぜでねている時、ぼくのすぐそばにいて、すぐ心配してくれ、早く元気になるようにと、食事をいろいろ考

広報のこだわり

オープンとレンジなどは、台所用品として相当一般化していますが、うまく使いこなせず死蔵されているケースも多いようです。

違う、と思うのです。

子供にいろいろ注意、要求をする前に、いかに自分がそれを満たしているかを考える時、まず正すのは自分だと深く反省するので、母親としての器造りにもっと真剣にたち向かわなければと思います。やるべきことはいろいろありますが、まず目上の人や主人に対する「ハイ」の素直な心。感情で怒らない。全てに対して感謝の心を持つ、等々。
口でいうほど実行するのはたやすくはありませんが、未知の世界へ喜々として挑戦する子供の姿、私も母として勉強しなければ、今年も私も一年生、子供に負けず頑張らねば、と決意を新たにしております。

て作ってくれました。

でも、きょうだいげんかをした時などは、きびしいお母さんです。



中央小学校 4年 近藤 雄樹

オーブンは電気とガスがありますが、電気オーブンは、微妙な温度調節ができるのが特徴で、菓子やグラタン、小型のパンなどを焼くのに向いています。強火で加熱する料理や、大型のケーキやパンを焼くには、ガスオーブンのほうがよいといえます。

内部から熱するので、解凍、再加熱に適しています。
料理のできばえからいうと、ゆでたり、煮物、蒸し物にはなべ、フライパン、蒸し器のほうが良いというテスト結果が出ています。各器具の長所、欠点をよくみて、我が家の食生活に適したものを選ぶようにしましょう。

たかの寸文芸

春

現在 鷹巣中二年 佐々木匠子

雪の間から
小さな、小さな緑の芽
今、私達に春を告げている
一年生だった私達
つい、昨日入学したような
そんな感じのする私達
四月には
新しく一年生も入ってくる
もうすぐ
先輩となる日が近づいてくる

春
あたたかく明るい季節
そして
新たな出発の季節

(原稿は三月中のもので)

おしらせ



一線美術会運営委員 九島登二氏

四月の健康相談

四月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は、十四日と二十八日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて検査も行います。

妊婦健康相談は、五日と十九日です。

時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れないでお持ちください。

また、今月の母親学級は、妊娠中の日常生活と栄養について。時間は、午前十時から十一時まで。

固定資産税 台帳の縦らん

昭和57年度分の固定資産税の課税の基礎となる固定資産課税台帳を、次により縦らんいたします。

記

期間 4月1日～20日まで

時間 午前8時30分から
午後5時15分まで
なお、日曜日、祭日は除きます。

場所 鷹巣町役場税務課

予防接種

離乳食実習指導は、十五日～十六年九月生まれとなっております。

受付時間は、午前九時半から十時半まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

乳児健康診査は、十五日～十六年十二月生まれとなっております。

受付時間は、午後一時から一時三十分まで。

※場所は、いずれも鷹巣保健所で

一歳六カ月児健康診査は、八日～十五年八月生まれと九月生まれとなっております。

受付時間は、午後一時から一時三十分まで、中央公民館ホールで行います。おいでの時は、母子手帳と問診票を忘れずにお持ちください。

生後三カ月から十八カ月までの乳幼児を対象に、経口ポリオワクチン（小児マヒ生ワクチン）の投与を行います。予備期間として四月十八日まで投与できます。

投与日は、鷹巣地区以外の方は十三日、鷹巣地区の方は十四日です。以前一回しか投与されなかった場合は、必ず二回目の投与を受けてください。

受付時間は、午後一時から午後二時まで、中央公民館保健相談室で行います。

※禁忌と注意

生ワクチンに関する一般的な禁忌である免疫産生機能に異常ありと想定される場合は、投与を行いません。その他、下痢患者も治癒してから投与します。生ワクチン投与当日の入浴はさしつかえありません。母子手帳は、必ず持参してください。

妊婦訪問

未熟児や異常児の出産を防ぐため、保健婦（助産婦）による妊婦訪問を行います。

四月は、▽二日▽沢口、七日市地区▽九日▽七座・坊沢地区▽二十三日▽綴子地区となっております。

訪問時間は、午前九時から午後四時まで。

長距離合同 タイムトライヤル

鷹巣町陸上競技協会では、町民体力づくりと、競技のレベルの向上をはかるため、長距離の合同タイムトライヤルを実施します。

会場は、鷹巣競技場で午後六時スタート。

実施日は、四月十七日から十月二日まで計十回行います。

陸上競技の愛好者であれば、だれでも参加できます。くわしくは、鷹巣体育館へ問い合わせください。

善意

▽森吉町電友会の方々から二、八六〇円

▽七日市第一・第二寿会より、しめなわ生産事業の収益金の一部二〇、〇〇〇円

▽鷹巣中学校一年・三沢照彦くんから拾得金の三、二二八円

それぞれ社会福祉のために、町社会福祉協議会へ寄付金がありました。



3月1日～3月15日
誕生おめでとうございます

三沢 大(民男) 長男) 大堤
長岐ひとみ(三吉) 長女) 南鷹巣
桜庭 久仁(文明) 長男) 新舟見
藤島 彦氣(洋二) 長男) 南鷹巣
辻 年美子(直人) 長女) 材木町
中島 絵美(誠治) 二女) 南鷹巣
畠山由佳理(耕一) 長女) 高村岱
片岡 絵理(綱夫) 長女) 伊勢町
千葉 秀一(義則) 長男) 横 測
二人の前途を祝福いたします

田村 純一 舟見町
岩 沢 久美子 大館市
九 嶋 昇 田 中
宮 腰 広美 品 類
小 塚 毅 堂ヶ岱
安 部 美佐子 藤里町

おくやみ申しあげます

武藤 スエ(74歳) 羽立
長岐 サト(86歳) 七日市
小塚 キク(83歳) 堂ヶ岱
成田 ナヲ(67歳) 深 関
岩谷谷五郎(81歳) 材木町
三沢 堅三(75歳) 大 堤
小笠原末吉(82歳) 綴子大畑
工藤 サコ(81歳) 田 中